

平成30年9月10日(月) 12:30～
太田市運動公園野球場

第44回日本選手権大会 関東代表決定戦
2回戦

VS

エイジェック

先発の古田は初回を三者凡退、上々の立ち上がり。
2回には四球の走者を出すもゲッツーに打ち取り、続く3
回には初ヒットを許すがここも捕手・道端が盗塁を刺して
無失点。

中盤、安定感が増えてきた古田は打たせて取るピッチン
グが冴え渡り4回～7回の4イニングスをすべて三者凡退
に打ち取り相手に得点の糸口すら掴ませない。

先発の古田は8回、1死から2塁打を打たれてこの試合初めて得点圏
に走者を許すと、2死からタイムリーヒットを浴びて失点を喫する。後続
をきっちり抑え、9回も走者を出しながらも無失点に抑えて試合終了。
古田は9回86球の省エネピッチングで完投勝利を挙げた！

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
エイジェック	安打	0	0	1	0	0	0	0	2	1	4
	得点	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
明治安田生命	安打	0	1	2	0	2	0	0	0	X	5
	得点	0	0	3	0	2	0	0	0	X	5

先制したい打線は3回、9番・木田の2塁打、1番・新城のヒットで1死1、3
塁のチャンスを作ると2番・宮川がセフトスクイズを決めて1点を先制す
る！
なおも打線がつながり1死満塁として4番・大野がライトへの犠牲フライを
放つてもう1点追加、さらに相手守備の乱れも絡んで1点を追加しこの回一

5回、9番・木田がヒットで再びチャンスメイクすると、1死2塁
の場面で2番・宮川が打った瞬間それとわかるライトへのホー
ムラン！2点を追加し5点差に広げる！

各選手成績は下段の
表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打	四死	打率	
						計	単	二塁	三塁						本塁
1	4	新城	新宿支社	4	4	1	1							0.250	
2	8	宮川	上野支社	4	3	1			1	3	1			0.333	
3	7	佐藤	所沢支社	4	3	0						1		0.000	
4	3	大野	池袋支社	4	3	0				1	1			0.000	
5	2	道端	丸の内支社	3	3	0								0.000	
6	9	井村	新宿支社	3	2	1	1					1		0.500	
7	DH	小川	町田支社	2	2	0								0.000	
	H→DH	竹内	町田支社	1	0	0						1		#DIV/0!	
8	6	吉田	総合法人第五部	3	3	0								0.000	
9	5	木田	所沢支社	2	2	2	1	1						1.000	
	H→5	島田	八王子支社	1	1	0								0.000	
計				31	26	5	3	1	0	1	4	0	2	3	0.192

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	古田	立川支社	○	9	30	86	4	1	1	1	1	1.00
計				9	30	・	4	1	1	1	1	1.00